

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 2 8 号
件 名	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める意見書の提出について
要 旨	<p>長期化するコロナ危機の中で、営業自粛による中小業者の経営危機や労働者の解雇などが広がり、戦後最悪の不況に見舞われています。収入減で、1日1食に切り詰めるなど、食べたくても食べられない人たちが増えています。</p> <p>全国で取り組まれている食料支援の取組やフードバンクには、職と住まいを失い、食べることをままならない人々が多数訪れ、米をはじめとする食料の配布が歓迎されています。</p> <p>その一方、米をはじめとする農産物の需要が減少し、過剰在庫による価格低迷に農家が苦しんでいます。米では需要減を理由に、史上最大の生産量の削減が実施されています。</p> <p>食べられない人々がいる一方で米を作らせない、こんな矛盾はありません。</p> <p>アメリカは昨年、余剰になった農畜産物を買上げ、生活困窮者への食料支援に提供したのに続き、今年も低所得世帯やシングル家庭、貧困高齢者への食料配布補助など支援政策を強化しています。</p> <p>日本では、農林水産省が政府備蓄米を子ども食堂に無償提供していますが、食育の範囲の、微々たる量に限られています。これでは、コロナ禍で苦しむ人々を救済することはできません。</p> <p>今、コロナ禍の中で増えている、生活困窮者への支援の拡充を求める声が、与野党を超えて強まっています。</p> <p>今こそ、政府の責任で行き場を失った農産物を、困窮する国民に提供する食料支援策を実施するときです。</p> <p>以上の趣旨から、コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を講じることを求める意見書を国及び政府関係機関に提出することを求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和3年9月10日 文教経済常任委員会
受 理	令和3年9月3日 第245号